

続いて、第5の柱

『人と自然が共生した、自然・生活環境づくり』についてであります。

本市のもつ多様で豊かな自然環境と、市民の住みよい生活環境との共生を目指し、各種事業を推進してまいります。

ごみの減量化につきましては、「大田市一般廃棄物処理基本計画」を改定し、市民の皆さまや事業者の方へ、資源物の分別徹底を働きかけるなど、あらためて啓発活動に力を入れてまいります。

また、可燃ごみの処理につきましては、令和4年度に、現在の「出雲エネルギーセンター」から、邑智郡総合事務組合の「新可燃ごみ共同処理施設」へ変わることに伴い、「大田可燃物中間処理施設」を改修するなど、円滑な移行のための準備を進めてまいります。

「大田し尿処理場」につきましては、事業開始から既に25年が経過し、老朽化が進んでいることから、2か年をかけて、施設の長寿命化を図るための改修工事を行ってまいります。

水道事業につきましては、新たな「大田市水道ビジョン」の基本方針に基づき、効率的な経営を目指すとともに、老朽管路の更新等による耐震化の推進や、必要な機器更新を計画的に実施してまいります。